

横河電機株式会社

2012年3月期 決算説明会資料

2012年5月14日

常務執行役員 鈴木 周志

1. エネルギー・電力関連投資の拡大を背景に堅調に推移している制御事業を中心に、海外でのビジネス拡大や、国内での震災からの復興・復旧への対応など積極的な事業展開をした結果、前期と比較して受注高、売上高は増加。

制御事業：日本市場は震災からの復興需要が見られるなど堅調に推移。また、海外市場でも新興国・資源国の市場でエネルギープラントや電力プラントなどの需要が堅調に推移。この結果、前期と比べ増収・増益。

計測機器事業：測定器ビジネスの売上高は前期並み、半導体テストビジネスの売上高は増収となったものの、フォトニクスビジネスからの撤退に伴う減収により、計測機器事業としては前期と比べ減収。営業損益は、構造改革による固定費減少及び研究開発費の減少により前期に比べ損失が減少。

2. 増収に加え、企業体質強化の取り組みを続けたことにより、営業利益と経常利益が増加した結果当期純損益は4期ぶりに黒字化。

(億円)

	FY10実績(A)	FY11計画(11/8)	FY11実績(B)	差異(B-A)
受注高	3,341	3,560	3,441	100
売上高	3,256	3,360	3,347	91
営業利益	111	150	166	55
経常利益	86	120	140	54
当期純利益	▲67	60	60	127

FY11 経営成績(対計画比)

YOKOGAWA ◆

(億円)

	FY10 実績	FY11				
		当初計画 8/9	修正計画 11/8(A)	実績 (B)	差異 (B-A)	
受注高	3,341	3,550	3,560	3,441	▲119	
売上高	3,256	3,330	3,360	3,347	▲13	
営業利益	111	130	150	166	16	
経常利益	86	100	120	140	20	
当期純利益	▲67	50	60	60	0	
為替レート	1\$= 1€=	85.13円 112.45円	80.00円 110.00円	77.00円 105.00円	78.82円 109.34円	1.82円 4.34円

◆受注高は、制御事業で一部の受注計上がFY12となったことにより▲35億円、計測機器事業が半導体テスト及び測定器ビジネスの減速により▲56億円となったことから計画(11/8)に対し未達

◆売上高は、制御事業は計画を達成(+52億円)したが、計測機器事業が未達(▲64億円)となった結果、計画(11/8)に対し未達

◆営業利益は研究開発費を含む費用のコントロールにより計画(11/8)を達成

◆当期純利益は、半導体テストビジネス終息に伴う特別損失を計上(▲13億円)したものの計画(11/8)を達成

FY11 経営成績(対前年比)

YOKOGAWA ◆

(億円)

	FY10	FY11	増減率	差異
受注高	3,341	3,441	3.0%	100
売上高	3,256	3,347	2.8%	91
営業利益	111	166	49.8%	55
(営業利益率)	3.4%	5.0%	—	1.6%
経常利益	86	140	63.4%	54
(経常利益率)	2.6%	4.2%	—	1.6%
当期純利益	▲67	60	—	127
(当期純利益率)	▲2.1%	1.8%	—	3.9%

◆円高によるマイナスの影響を受けながらも、新興国、資源国の継続的な成長等により、制御事業の海外市場を中心に受注高、売上高とも増加(為替影響額:受注高▲92億円 売上高▲88億円)

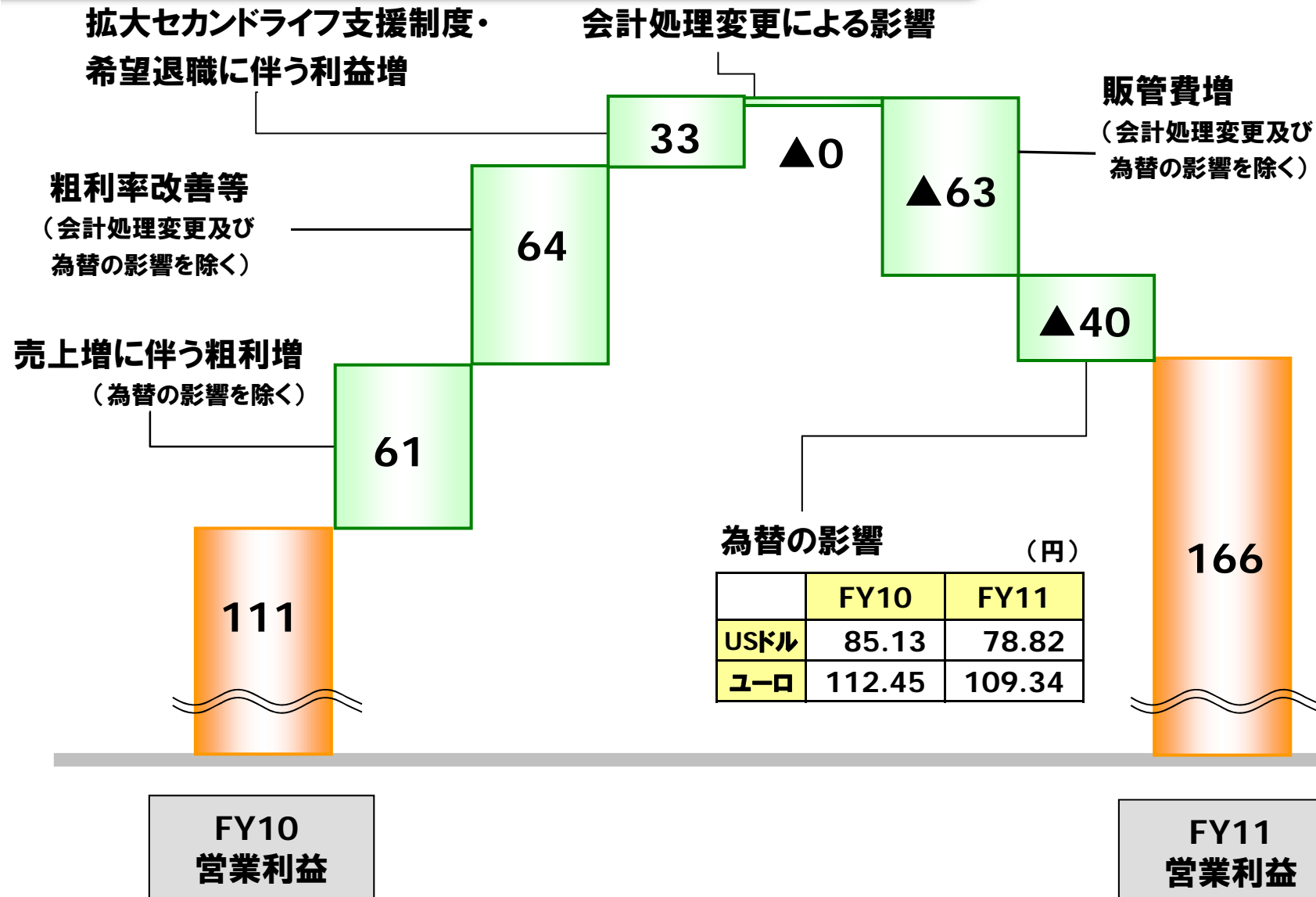
◆売上高の増加及び物量増による粗利率改善等により、営業利益が増加

◆営業利益の増加に加え、事業構造改革関連費用(FY10 68億円→FY11 32億円)及び投資有価証券評価損の減少(FY10 23億円→FY11 0億円)により、当期純利益が黒字化

FY11 営業利益分析

YOKOGAWA ◆

(億円)



四半期別 経営成績

YOKOGAWA ◆

(億円)

	FY10					FY11				
	1Q	2Q	3Q	4Q	Total	1Q	2Q	3Q	4Q	Total
受注高	880	817	784	860	3,341	950	840	752	899	3,441
売上高	662	871	752	971	3,256	700	878	757	1,012	3,347
営業利益	▲6	45	8	64	111	5	63	25	73	166

◆売上高は制御事業の国内売上を中心に、2Q、4Qに集中

営業外・特別損益

(億円)

	FY10	FY11
営業利益	111	166
営業外収益	37	34
営業外費用	62	60
経常利益	86	140
特別利益	15	18
特別損失	111	41
税引前利益	▲10	117
法人税等	57	57
当期純利益	▲67	60

支払利息: 27億円

事業再編損: 25億円
事業構造改善費用:
8億円

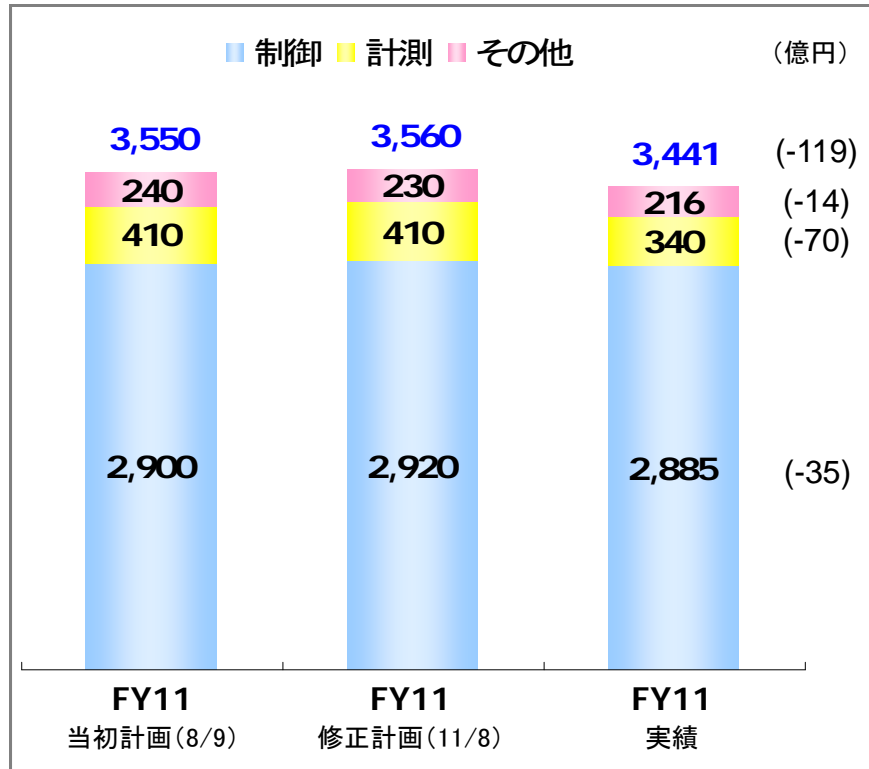
◆特別損失: 事業構造改善費用が減少(FY10 68億円→FY11 8億円)

事業再編損が増加(FY10 0億円→FY11 25億円)

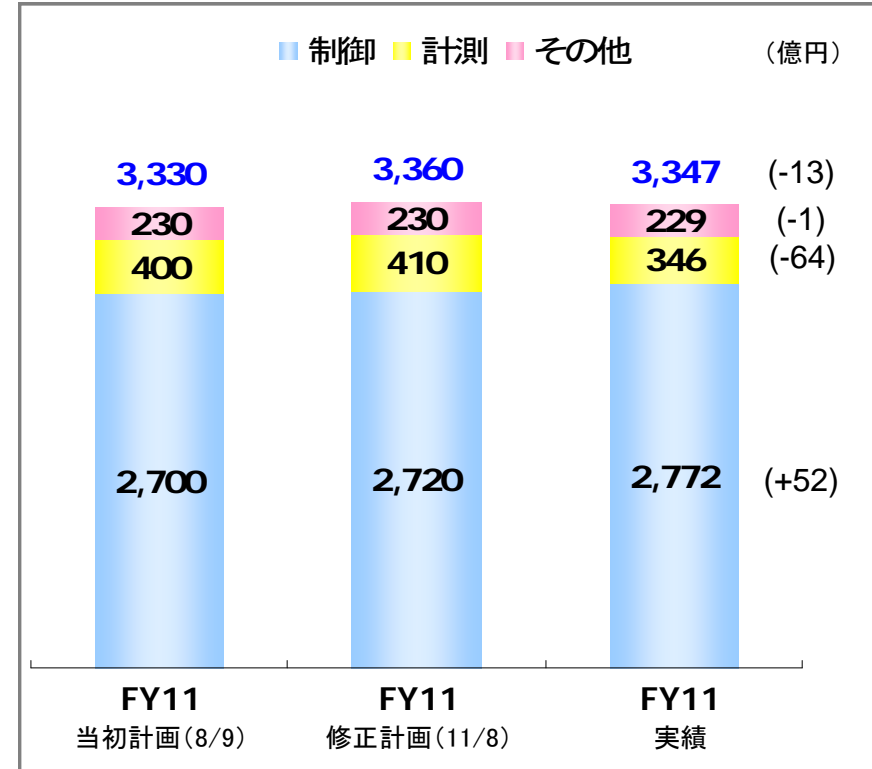
投資有価証券評価損が減少 (FY10 23億円→FY11 0億円)

セグメント別 受注・売上(対計画比)

受注高



売上高

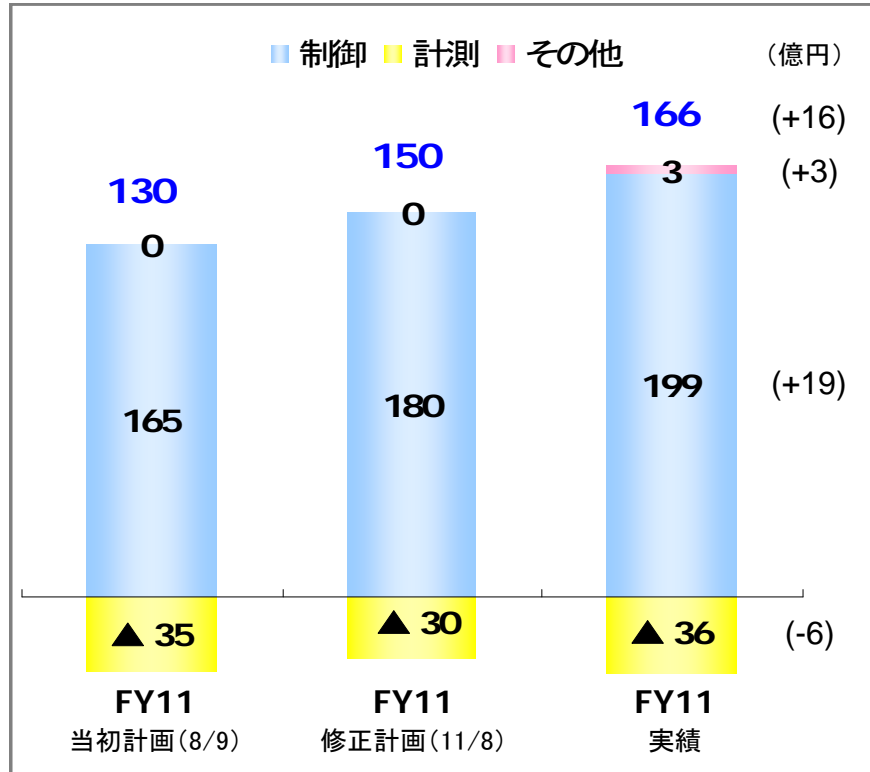


◆制御事業:市場は活況に推移しているものの、一部の受注計上がFY12となったことにより受注高は計画未達、売上高は計画を超過達成

◆計測機器事業:主に半導体テスタビジネスで受注高(▲29億円)、売上高(▲26億円)が未達となったことにより、計画(11/8)に対し未達

セグメント別 営業利益(対計画比)

営業利益



(億円)

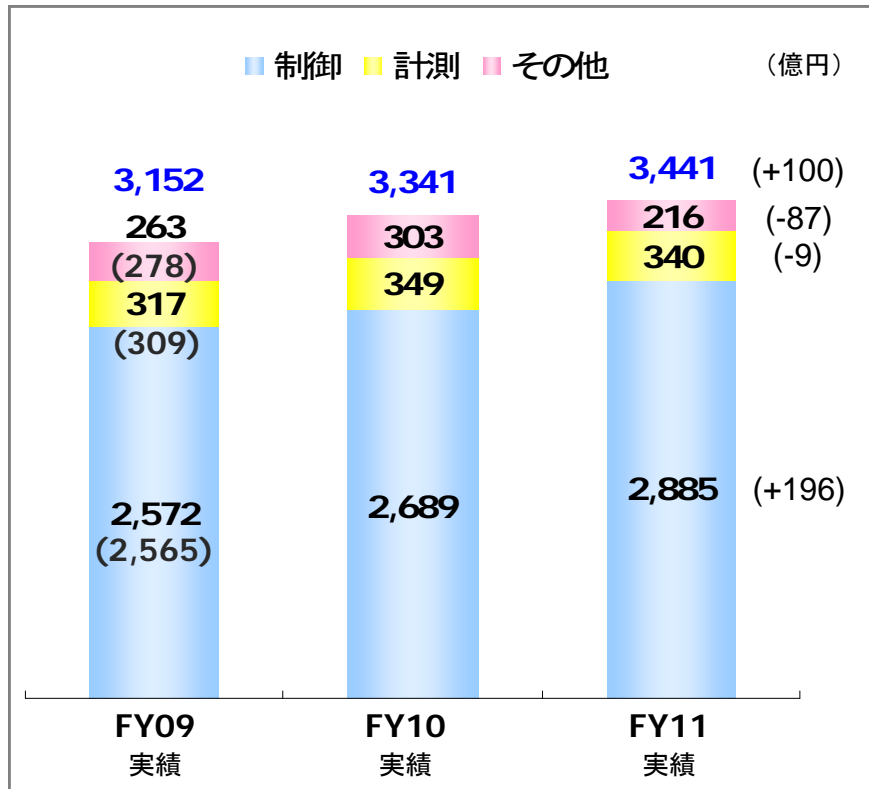
	FY11 計画(11/8)	FY11 実績	差異
制 御	180	199	19
計 測	▲ 30	▲ 36	▲ 6
その他	0	3	3
合 計	150	166	16

◆**制御事業**:増収に加え、物量増による粗利率改善等により営業利益が増加

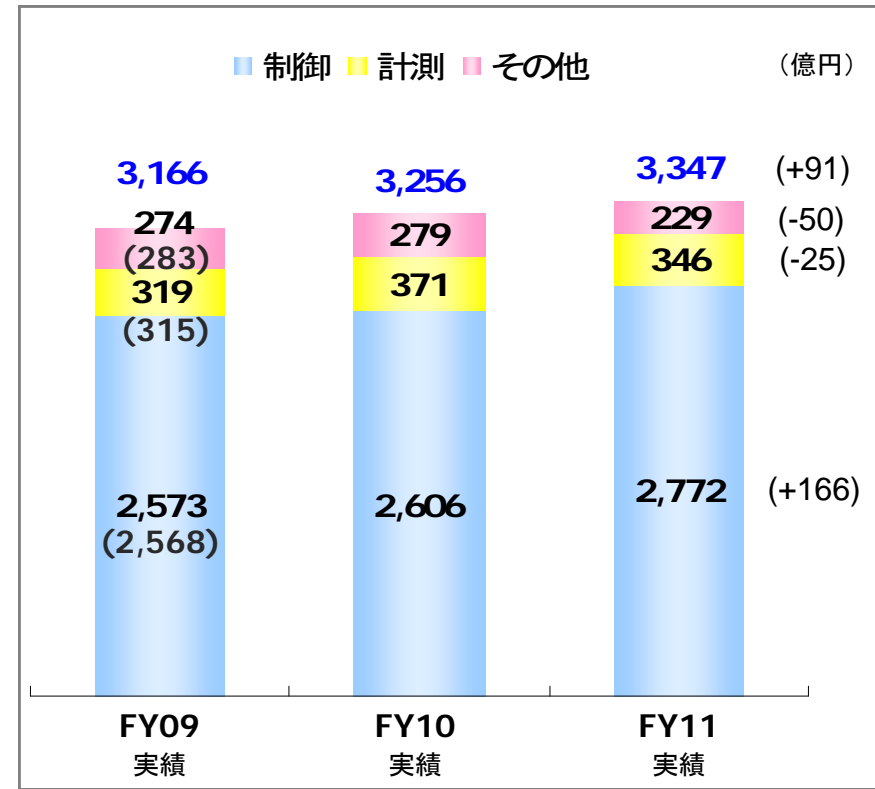
◆**計測機器事業**:半導体テストビジネス終息の意思決定に伴う棚卸評価損等を計上したことにより営業損益が悪化

セグメント別 受注・売上(対前年比)

受注高



売上高



※新会計基準の適用により、FY10からセグメント情報の集計方法が変わりました。FY09()内の数値は集計方法変更前の数値です。

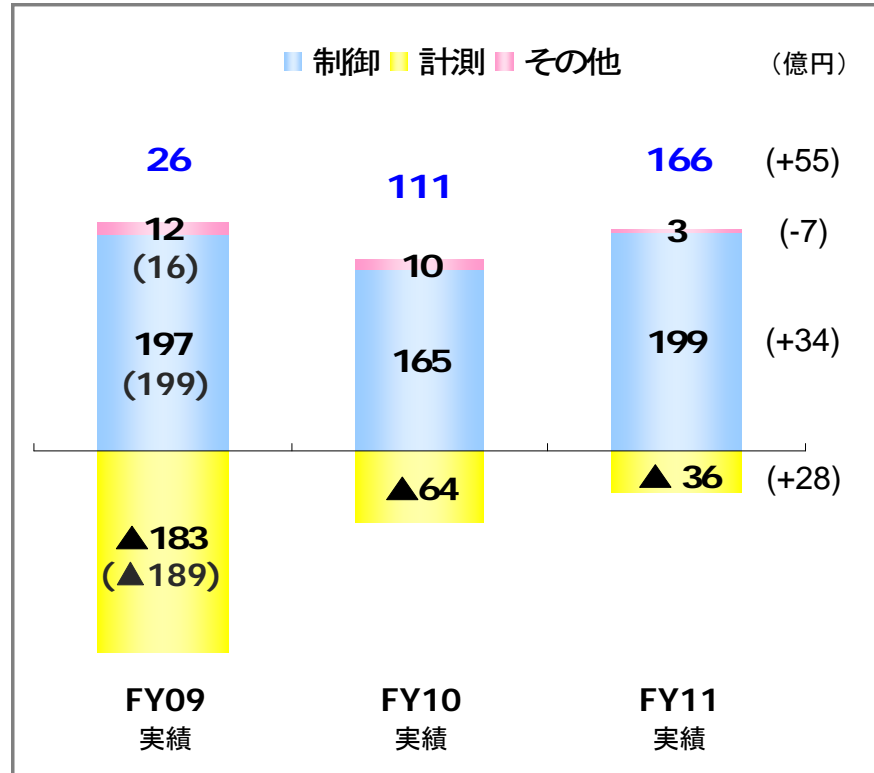
◆制御事業:国内市場では震災からの復興に向けた需要が見られ、海外市場でも新興国、資源国でのエネルギープラントや電力プラントなどの継続的な需要により堅調に推移し、円高によるマイナスの影響を受けながらも受注高・売上高が増加(為替影響額:受注高▲87億円 売上高▲83億円)

◆計測機器事業:フォトリソビジネスからの撤退の影響などにより受注高、売上高ともに減少

セグメント別 営業利益(対前年比)

営業利益

(億円)



	FY10 実績	FY11 実績	差異
制 御	165	199	34
計 測	▲64	▲36	28
そ の 他	10	3	▲7
合 計	111	166	55

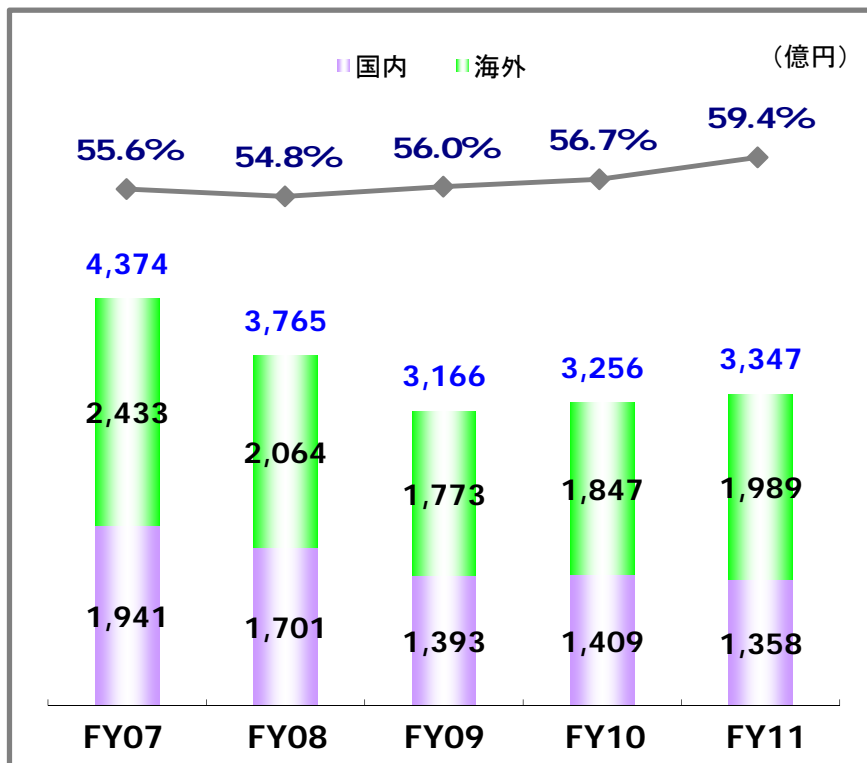
※新会計基準の適用により、FY10からセグメント情報の集計方法が変更されました。FY09()内の数値は集計方法変更前の数値です。

◆制御事業:売上高の増加及び物量増による粗利率改善等により、営業利益が増加

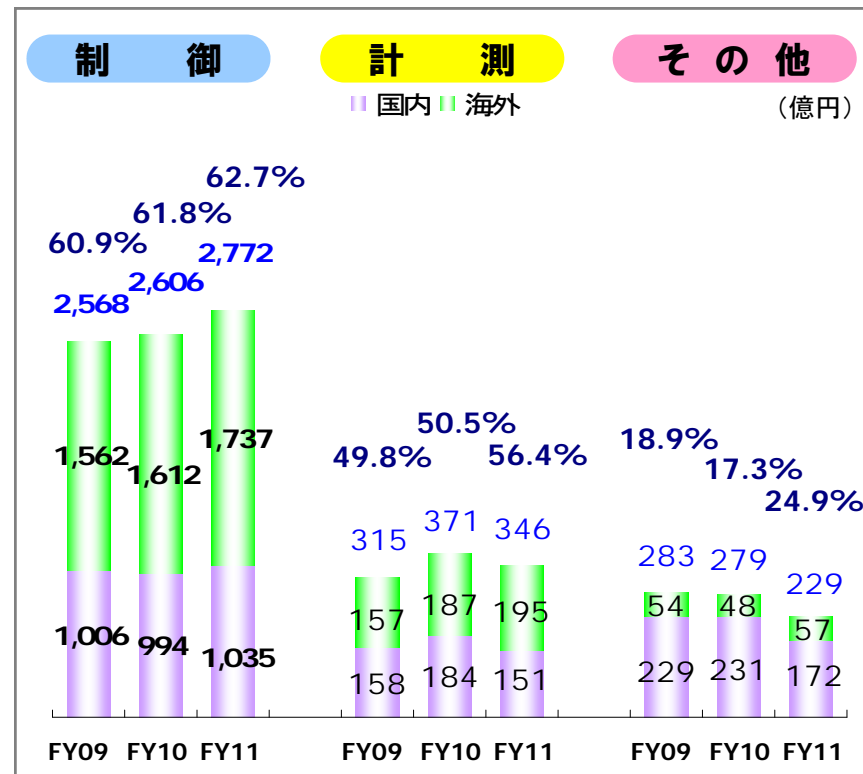
◆計測機器事業:事業構造改革による固定費及び研究開発費の減少などにより、前期と比べ損失が減少

海外売上高

全社



セグメント別

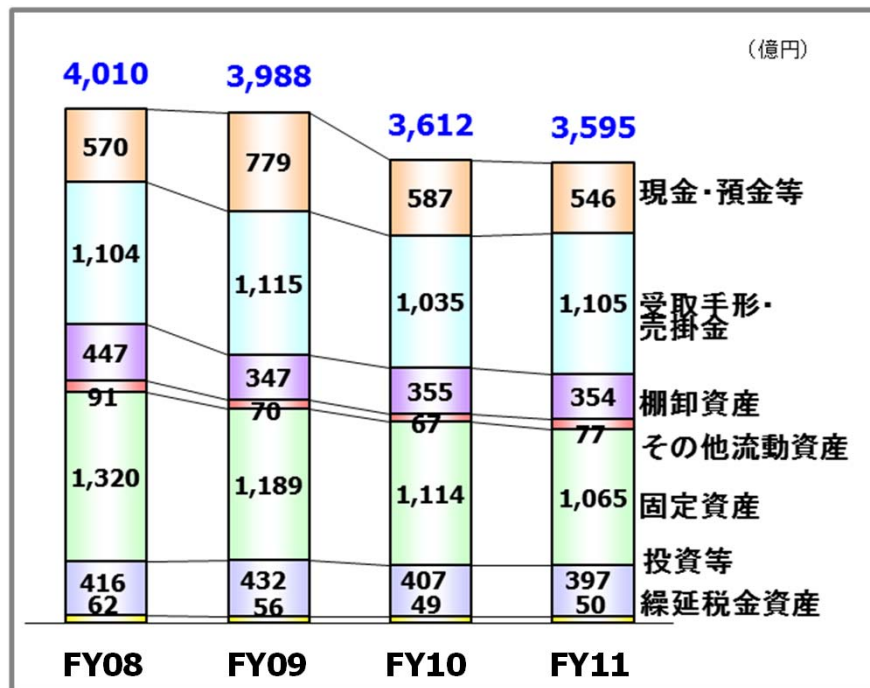


※FY09の実績はセグメント集計方法変更前の数値です。

◆主に制御事業で海外売上高が増加したことから、海外売上高比率が上昇

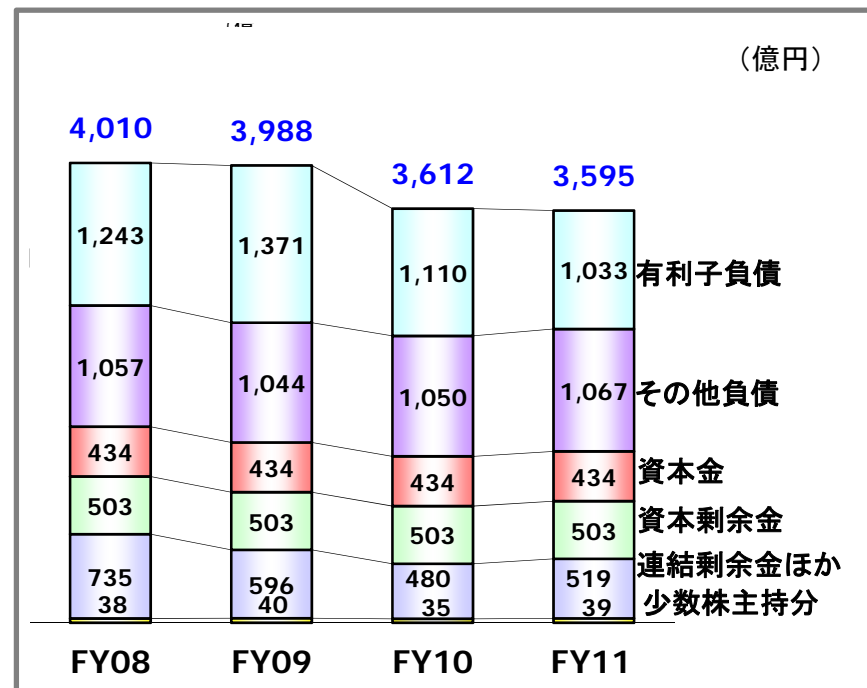
貸借対照表

資産



	FY08	FY09	FY10	FY11
総資産回転率	0.89	0.79	0.86	0.93
自己資本比率	41.7%	38.5%	39.2%	40.5%

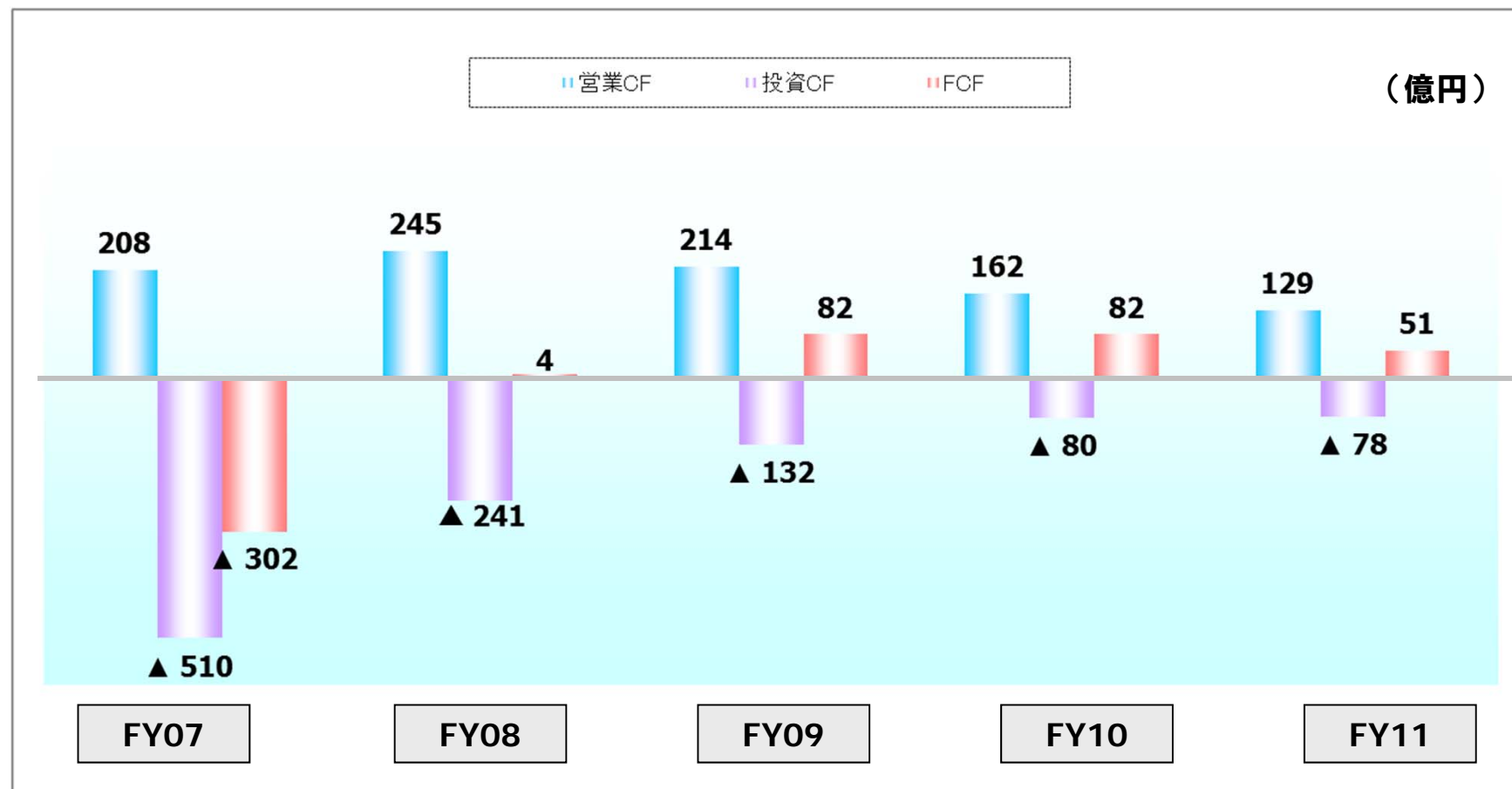
負債・資本



	FY08	FY09	FY10	FY11
D/E レシオ	74.3%	89.4%	78.3%	70.9%
有利子負債比率	31.0%	34.4%	30.7%	28.7%

◆自己資本の増加及び有利子負債の減少によりD/Eレシオが改善

キャッシュ・フロー



◆増収に伴う売掛債権の増加により営業キャッシュ・フローが減少

◆設備投資のコントロール等により投資キャッシュ・フローは前期とほぼ同水準を維持

FY12 経営計画

YOKOGAWA ◆

(億円)

		FY10 実績	FY11 実績(A)	FY12 計画(B)	差 異(B-A)
受 注 高		3,341	3,441	3,500	59
売 上 高		3,256	3,347	3,390	43
営 業 利 益		111	166	190	24
経 常 利 益		86	140	160	20
当 純 利 益		▲67	60	130	70
為 替 レ ー ト	1\$= 1€=	85.13円 112.45円	78.82円 109.34円	79.00円 100.00円	0.18円 ▲9.34円

◆受注高・売上高は、制御事業の増収(前期比 受注高 75億円 売上高 58億円増)により、前期に比べ増収計画

◆制御事業では増収に伴い増益計画、計測機器事業では構造改革効果により損失が減少することから営業利益は増益計画

◆FY11に計上した事業構造改革関連費用(32億円)等の特別損失が減少することなどから、当期純利益は増益計画

FY12 営業外損益・特別損益計画

YOKOGAWA ◆

(億円)

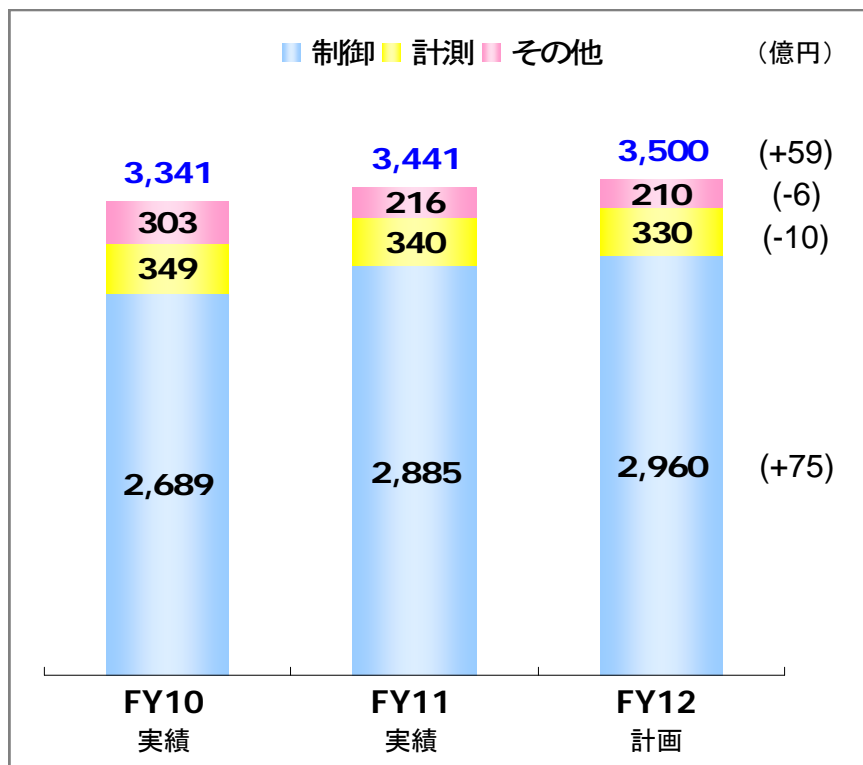
	FY10 実績	FY11 実績	FY12 計画
営業利益	111	166	190
営業外収益	37	34	▲30
営業外費用	62	60	
経常利益	86	140	160
特別利益	15	18	35
特別損失	111	41	
税引前利益	▲10	117	195
法人税等	57	57	65
当期純利益	▲67	60	130

◆営業外収益・費用は特筆すべき計上の予定なし

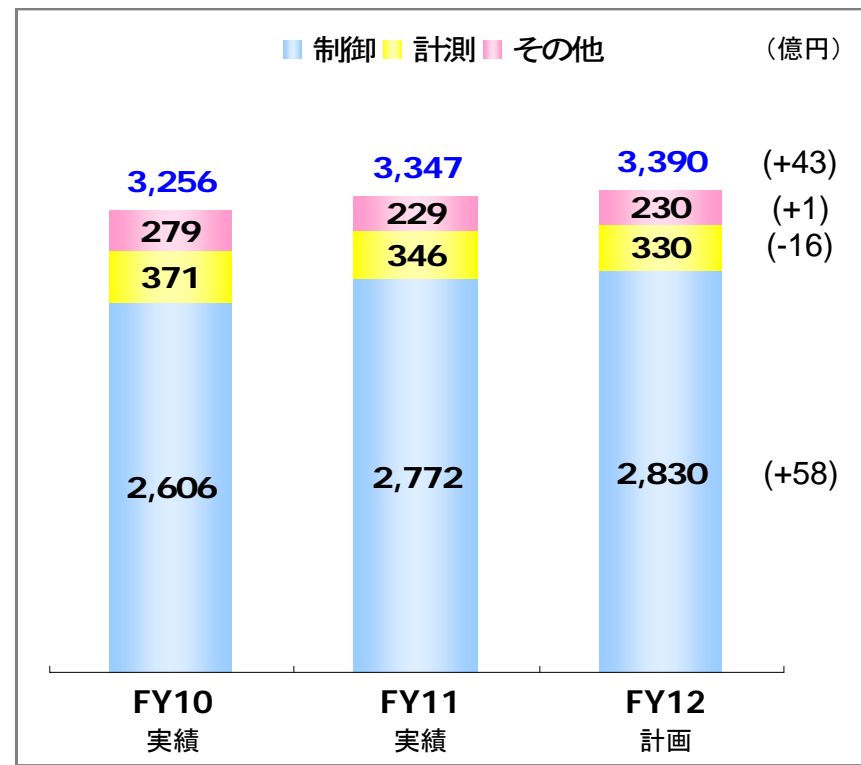
◆固定資産売却益(37億円)を特別利益に計上予定

FY12 セグメント別 受注・売上 計画

受注高



売上高



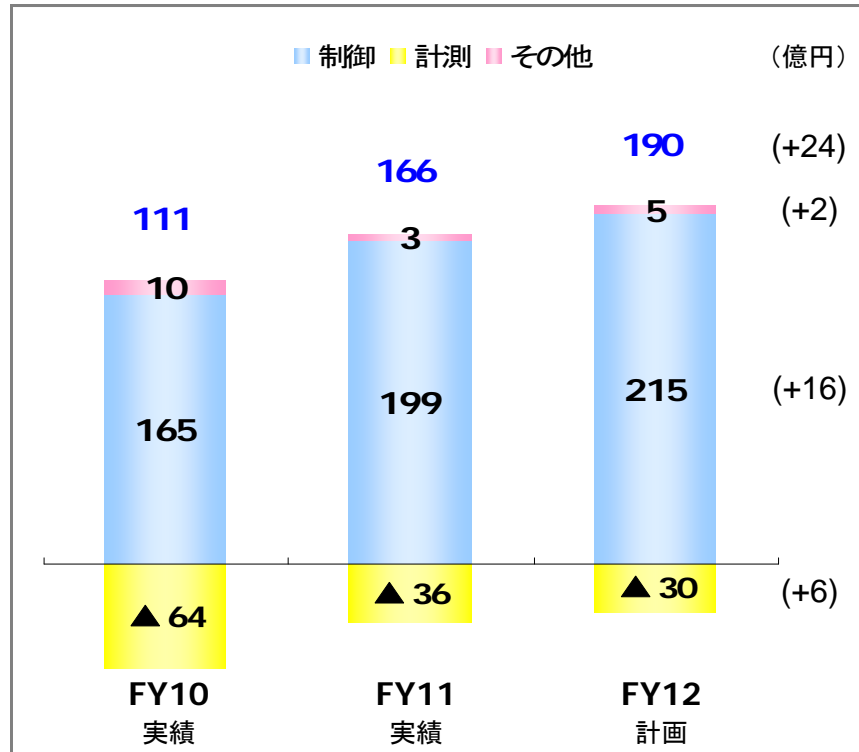
◆制御事業：引き続き電力、天然ガス、石油、再生可能エネルギー市場を中心に堅調な伸びが予想されるが、堅実な受注高・売上高計画を策定

◆計測機器事業：測定器ビジネスでは増収が見込まれるものの、半導体テストビジネスの終息に伴う減収により受注高・売上高は減収計画

FY12 セグメント別 営業利益 計画

営業利益

(億円)



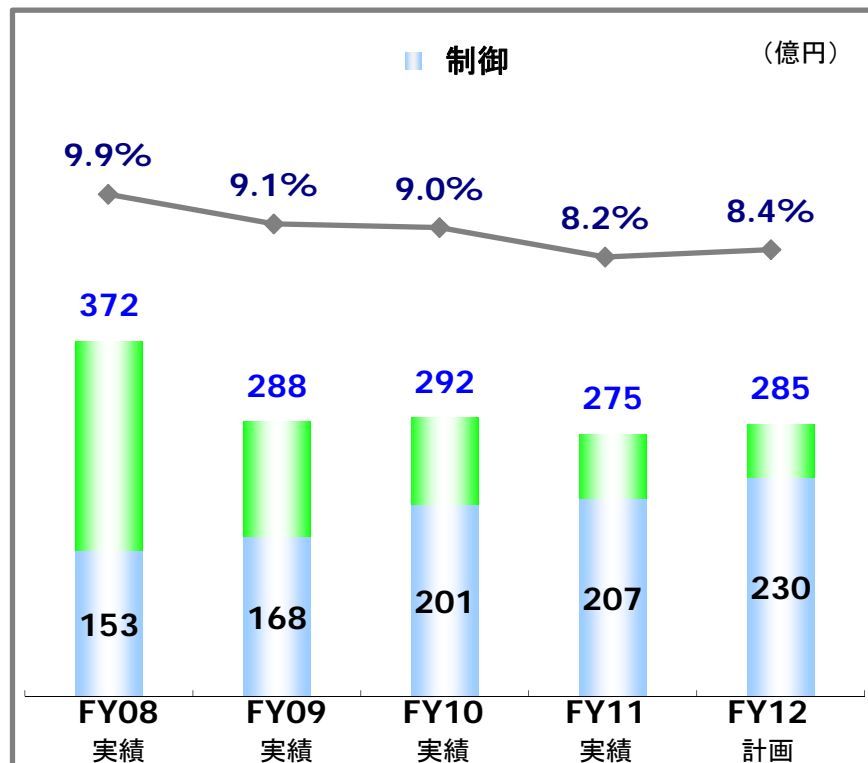
	FY11 実績	FY12 計画	差異
制 御	199	215	16
計 測	▲ 36	▲ 30	6
その他	3	5	2
合 計	166	190	24

◆制御事業:研究開発費は増加(+23億円)するものの、営業利益は前期と比較し増益となる見通し

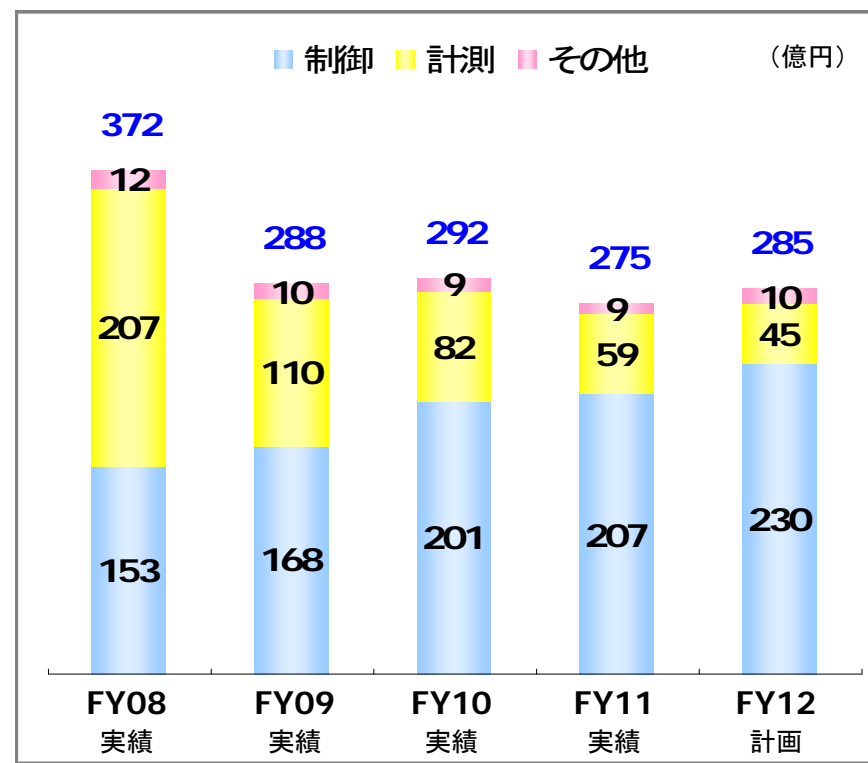
◆計測機器事業:主に半導体テストビジネスの終息に伴う減収の影響を受けるものの、固定費・研究開発費の減少により営業損失は前期と比較し減少

研究開発費

全社



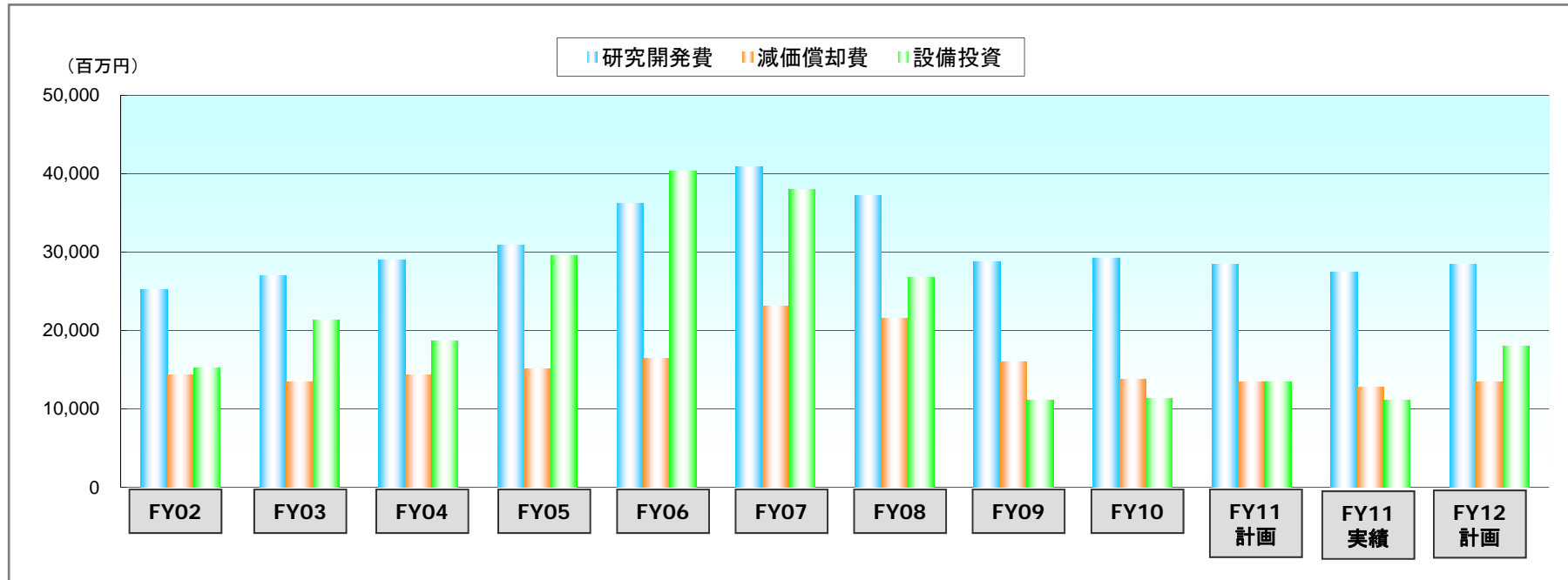
セグメント別



◆制御事業の製品開発力強化のため、研究開発費を前期比23億円増加

◆計測機器事業は事業構造改革により、研究開発費を前期比14億円圧縮

研究開発費・減価償却費・設備投資



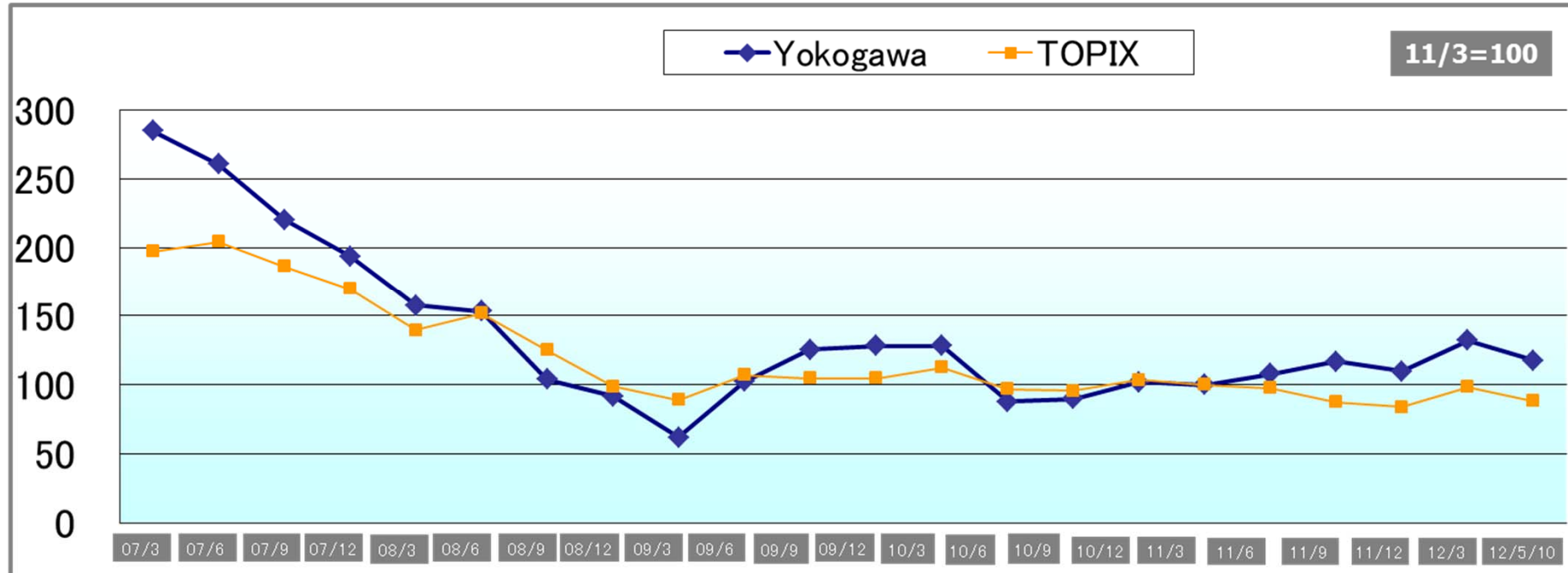
(百万円)

	FY02	FY03	FY04	FY05	FY06	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11 計画(11/8)	FY11 実績	FY12 計画
研究開発費 (対売上比)	25,233 7.7%	26,991 7.3%	28,998 7.5%	30,917 8.0%	36,223 8.4%	40,875 9.3%	37,229 9.9%	28,786 9.1%	29,179 9.0%	28,500 8.5%	27,472 8.2%	28,500 8.4%
減価償却費 (対売上比)	14,298 4.3%	13,455 3.6%	14,331 3.7%	15,124 3.9%	16,483 3.8%	23,129 5.3%	21,615 5.7%	16,033 5.1%	13,836 4.2%	13,500 4.0%	12,756 3.8%	13,500 4.0%
設備投資 (対売上比)	15,264 4.6%	21,355 5.7%	18,652 4.8%	29,540 7.6%	40,284 9.3%	37,990 8.7%	26,813 7.1%	11,125 3.5%	11,337 3.5%	13,500 4.0%	11,143 3.3%	18,000 5.3%

◆FY11設備投資は計画(11/8)に比べ24億円圧縮

◆FY12設備投資は主に制御事業において中期経営計画に基づく戦略投資を実行予定

株価の状況



	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/12	12/3	12/5/10
Yokogawa	1,806	1,654	1,398	1,228	998	971	659	582	394	650	795	812	814	557	568	646	634	683	740	695	837	745
TOPIX	1,714	1,775	1,617	1,476	1,213	1,320	1,087	859	774	930	910	908	979	841	830	899	869	849	761	729	854	765

	07/3	07/6	07/9	07/12	08/3	08/6	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12	10/3	10/6	10/9	10/12	11/3	11/6	11/9	11/12	12/3	12/5/10
Yokogawa	285	261	221	194	157	153	104	92	62	103	125	128	128	88	90	102	100	108	117	110	132	118
TOPIX	197	204	186	170	140	152	125	99	89	107	105	104	113	97	96	103	100	98	88	84	98	88

本資料およびアナリスト説明会で提供する情報のうち業績見通し及び事業計画等に関するものは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、実際の業績は、様々な要因により、これらの見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

